

令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和3年7月）会議録

日 時：令和3年7月15日（木）午後6時00分～20時20分

出 席：大槌 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

1 開会のあいさつ

大槌：本日のコロナ感染者数が1,308名とのこと。40代、50代の感染が増加している。4度目の緊急事態宣言が発令され予断を許さない状況。対面で会議がもてることはありがたい。時間の制限もあるので、密度の濃い会議になれば良い。

2 令和3年度地域活性化講座について

（1）「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！」について

- ・委員の参加協力の調整
- ・午後の学習ボランティア：現在2名の協力あり

石川：調整表参照。委員の当日のお手伝いを確認したい。学習ボランティアは現在3名の方の申込がある。1人目が毎年来てくれている青野さん、学習塾をやられていた方。2人目が40代西東京市の男性の方。お仕事をされているが調整し全て来てくれるとのこと。3人目の方は加藤委員からの紹介の中央大学1年生1名を予定。

（2）「にしすな夜間塾〈第5弾〉」について

- ・日程 10月8日（金）18：00～
- ・開催場所
- ・講師
- ・講座の内容

石川：日程は10月8日の金曜日。内容については前回の会議で色々なお話がでた。

大槌：前回の会議でこいけさんの料理講座や太極拳の話がでていた。一番西砂エリアの働いている世代、子育て世代をより救いあげる開催場所はどこが適切なのか、児童館、西砂会館、学習館の案がでた。児童館は児童館を離れても講座を開くことに対して、協力が得られると確認はできた。

小笠原：緊急事態宣言が再発令され、食のハードルは児童館の中では上がったままというのが現状だが、児童館の飲食がゼロではなく、学童保育所、夏休み中に事前申し込みがあった児童は館内でお弁当を食べることができることになり、だいぶ柔軟になってきた。夜間塾では、夕食の心配をしないで講座に参加できたが、コロナの影響で食事の提供が駄目になった。ここがいつどう復活するか。太極拳も興味はある。

大槌：参加者が減ったのは夕食の提供ができないところが大きいネックになっているので

はと思う。メインになっている部分が NG になっているので参加人数が減っているのはある程度予測できる。10 月の時点ではなんとも言えない。

小笠原：チラシはいつから学校に配布するか。その段階で施設内での飲食がどうなっているのかぎりぎり判断できる。

石川：9 月 21 日に配れるようにしたい。

小笠原：軽食の提供があるか無しかが心配になる。その判断が 9 月の段階で可能か。サマーイベントではお弁当の持参を可としたがその基準は。

石川：大前提として学習館内での飲食は禁止。特例で午前と午後を予約している団体は昼食を食べても良いとしている。そこから、午前も午後も講座を受けるということで、食事中はマスクを外している時は話さないことを約束としてお弁当の持参を可とした。

大橋：午前午後で活動している場合は飲食が OK としているとのこと。

石川：図書館前のスペースも飲食は禁止。

大橋：学習スペースではどうしているか。

石川：午前午後で利用時のお弁当は OK としている。

小笠原：夜間塾の軽食提供が当てはまるか。

石川：基本的には料理の講座は日中に行っている。普段は定員 20 名のところを感染しないように少人数の 8 名で行っている。

大橋：飲食を伴うものは講座として立ち上げられないのか。定員は子どもも大人も含めてマックス 8 名だけということか。

小笠原：食べるのは良いのか。

石川：係長同士で連絡を取り合っているところ。まん延防止時は、感染防止をして講座をしていた。緊急事態となってランクが上がるが、対応が変わってないので、総意として同じで良いとなった。対策をしっかりし、人数を抑えて実施しても良いとなっている。

岩元：現段階で 10 月 8 日の感染状況を予見できないので、見込みでのプランはやめて、食事は無しにして、土曜日の午後とか夏の疲れを取ってという内容に変更したらどうか。食事が無いと 18 時からの講座は難しい。

小笠原：リスクの大きい食を諦めて、コロナの間は日曜や土曜の午後、子どもが遊んでいる間に、そこは譲らないで時間を変えるのは良いのかなと思う。

広瀬：来年の 1 月や 3 月の実施はどうか。

小笠原：1 月はなんとかなるが、3 月は忙しくなるので難しい。夜間塾がずっと中止になっているこの形を変えても復活するのが良いか、ワクチン接種が進む先にやるのが良いか。どちらかの選択かなと思う。

大橋：1 月の金曜日の夜ということか。コロナの状況が落ち着いているか分からないが。

小笠原：先延ばしにするなら年度内 1 回にせざるをえない。

大橋：講座を開けること自体ありがたい状況。

小笠原：講座で料理をやっているとのことなので、人数を減らして実食を含んだ講座が可能

なら学習館をお借りして実施できるが、学習館だけになりたくない思いはある。

大橋：活動の場所が児童館に足掛かりをつけられたことは、大きな進歩だった。西砂会館にも伸ばして、活動の場所を広げる気持ちはある。活動拠点が広がることは良いこと。

増田：コンセプトは子どもがいて、夕食を考えないで日頃やれないことをやろうと言うのが夜間塾。コロナで食のことが分からない状況なら休会しても良いと思う。状況が改善したら企画をしても良い。主旨を考えると延期をしてもやむをえない考えもある。

大橋：10月実施で考えるのはハードルが高過ぎるか。

岩元：コンセプトが食の提供をしてお母さん達にということだったので、地域の居場所づくりに目を向けて太極拳を会館で実施するのも一つの案かと思う。

大橋：地域の居場所づくりではあるが、子育て世代をなんとか救うことが講座として必要なのではと夜間塾を立ち上げてきた。働いている方の参加しやすい状況や曜日や時間を考えてきた。食の提供が無くても、その年代を対象として講座の企画はできる。

小笠原：今の段階では現実的。児童館の土曜、日曜の午後は意外と混んでいる。となると、会館を一度使うのはこの際良いのかなと思う。そうなった場合には、子育てひろばで親子ヨガを実施した時、参加者からの言葉として、親子で出来たのは良かった、同じ世代の人と一緒に出来たのが良かったと話していた。子育て世代にターゲットを絞り、夜間塾のいくつかある柱の中でぶれないで良いのかなと思う。

大橋：西砂会館を会場として一度は行ってみたい。集客が全く分からないので、実際にやれば課題も見えてくる。場所を変えてやってみる価値があると思った。

小笠原：学童保育所にチラシのお願いをすれば、お迎えの保護者にピンポイントに渡すことが可能。第二弾を考えるなら2月になる。

岩元：西砂会館は、若い方向けの利用があまりないので、一度やってみても良い。

大橋：10月～11月と1～2月での日程調整をしたい。内容の案は太極拳、親子ヨガがある。

森：在宅の方が多いので体を動かす機会が少なくなっている。ゆっくりする動きの太極拳やヨガ、子どもは今時の曲を使ったダンスは楽しいかも知れない。

浅見：大学ではダンスサークルのメンバーが100～200人いると聞く。

大橋：身体を動かしてリフレッシュして次の週に頑張ろうという講座にしてはどうか。松明祭にダンスを見せてくれている団体がある。地域でダンスに夢中になっている方もいると思う。

長谷川：キッズジャズやキッズヒップホップがある。若い先生もいる。

大橋：市民リーダーでいないか。地域でいたら良い。情報を集める。会場は西砂会館。

小笠原：児童館では秋に遊戯室の水銀灯工事が入るので、児童館の実施は年明けに考えて頂ければ良い。

(3)「認知症予防講座」について

- ・日程 10月30日(土) 10:00～11:30(前回の事例)

・内容と講師 前回と同じ

(4)「西砂川での災害を考える<第5弾>」について

・日程 11月27日(土) 18:00～

・講座の内容等

自治会長に事前にアンケートを取り内容を考える。

クロスロードの手法を取り入れる。

石川：自治会に配布するアンケート依頼のたたき台を送付。広瀬委員から平易にしたかどうかと提案を頂き、会長からは詳しくしたかどうかと提案を頂いた。

大橋：地域から問題を拾い上げるためには防災担当から協力を頂かないといけないというのが伝わらないといけないのでこのような文章となった。趣旨を分かって頂けたら書いて頂けるのかと思う。地運協の課題として絶えず個々の物を地域に発信していくことをして意識を高めることを一つの役割と思っている。意識を高めるお手伝いを地運協としては出来るということを伝えたかった。項目が沢山あるとハードルが高くなると思ったが、災害が発生した時に何をベースにして考えるか、立地条件、幹線道路等をベースにしてこのエリアで何が課題かと思った。前面の方だけ考えて頂ければ。裏面は広瀬さんが提案した内容を考えて頂けたらと思う。

小笠原：2つを合体ではないが、いくつか例をだして、「○」をつけてもらう形はどうか。

「その他」も入れる。沢山の材料があり過ぎてもハードルが高い、自由記述だけだと欲しい情報にたどり着かないのでミックスが良い。

森：このアンケートは記名式なのか。記名式だと地域の問題が分かりやすい。

石川：記名式で返信用封筒に入れて頂く。

大橋：「○」が沢山付いた所がこのエリアの課題になるので、自由記述から割り振るよりは簡単になる。

石川：8月には送付したいと思っている。

浅見：クロスロードについて。

大橋：市販の物を使うとなるとカラーになるのか。

浅見：25人分はあるので同時に25人やることは可能。

大橋：アンケートを集計した物を、立川市災害ボランティアネットの方にお見せし、ここでやろうとしているクロスロードの問題を作って頂けるか、プラスαで講義としてまとめてもらえないか。

浅見：日程が決まっているので、ご参加頂ける方がいるか確認する。クロスロードの問題の検討、コーディネーターの依頼をするのは可能。

大橋：アンケートがはじめにあり、課題と一緒に考え、クロスロードの作成、進行、後半にそれらを含め講義をして頂き2時間のプログラムとしたらどうか。

広瀬：集まって意見交換をする場合は、地元の人同士なので、交流して知り合うことも意味があるので前段に入れて頂きたい。交流の時間は20分位が良い。

浅見：時間配分は検討していきたい。

大槁：地域の防災担当者が集まるので交流の時間は入れる。

石川：基本的には地域の方に出て頂きたいので、広報には載せないで、定員に余裕がある場合はチラシを配る対応で良いか。まずは自治会の防災担当、会長に参加して頂く。

岩元：各自治会から必ず2名参加してくださいとするのが良い。

広瀬：1人も来ない自治会があったら催促はしても良い。

石川：クローズの講座と言うことで進める。

大槁：来年は同じ課題で一般も交えてやっても良い。今回は専門的な視野に立った方に来てもらう。対象が違ったらまた見えてくることもある。

3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槁：何かあれば事務局へ。

(2) 地域学校コーディネーターとの連携について

- ・令和3年度の地域学校コーディネーターとの会合

日時：8月5日（木）18：00～20：00

会場：西砂学習館 視聴覚室

石川：日程が決まった。この会議と同じ取り扱いとなる。学校の先生にも情報提供は大事なので、校長と副校長先生にはお知らせする。集まる方の名簿、会議後の報告も各学校にする。

大槁：現在地域学校コーディネーターとの連携に取り組んでいるのは西砂と幸の運営協議会だけ。生涯審でも5年計画で考えているという話があり、温度差を感じてしまう。

私達は、地域学校コーディネーターとしてネーミングを思った時に、イメージするのはコーディネーターだからコーディネートをする役目の人と自分はとったが、そのように学校はコーディネーターに指名はしていないとわかった。支援員の1名としているとのことで、そうかもと感じた。本質がうまく伝わっていないと思った。委嘱されているが、どのようなお仕事をしているかというところから出発して、一緒に考えながら学校と地域を縮めていくお仕事を一緒に考えることから始めないと、と強く感じた。学校を地域でどう支えたら良いかを一緒に模索する会議だから、学校の取り組み、市民科の取り組み、ある程度ベースとして知ることが大事なので、知り得たものを提供していた。

広瀬：1回は集まっているのか。

石川：先日コーディネーターが集まる会議に参加したが欠席者も多かった。この地域からはお一人のコーディネーターしか参加されていなかった。

大槁：コーディネーターというキーワードを十分に伝えてないと思った。

長谷川：コーディネーターができたとき、明確ではなかった。学校によって役割があった。

松中小だと、お花を生ける、読み聞かせ。学校によって違う。コーディネーターも学校側もわかっていない。

大槁：学校の課題、地域の施設、人材をうまく連動させながら子ども達の学習を支えようと考えている。地域で子どもを育てようと気運が起こっている。コーディネーターと少しでも話して距離を縮めて、出来ることを模索したいということを伝えていきたい。

岩元：校長先生が教育委員会から言われた時に捉え方が各先生で違う。方針だけ言ってくるが中身を理解して貰う努力をどこもしていない。

大槁：コーディネーターとの話しは学校にもお伝えしていく。

(3) フリースペースについて (報告)

(4) 各委員から報告及び連絡事項 (報告)

加藤：9月4日「市民交流クッキング 即席めんで栄養たっぷりアレンジ麺」は参加人数を減らして実施する予定。7月17日「犬との楽しい暮らし方」は2回目になる。他、パソコン講座、クラシック講座を予定。

広瀬：シルバー大学は今年度の募集が始まり10日で締め切りをした。追加募集をこれからするとのこと。7月17日、18日音楽フェスティバル「#たちフェス♪」が開催。

浅見：サマーイベントの動画が立川社協のYouTubeにアップされている。まちなつとは10月に発行。8月から編集を始めるので地域の方にお知らせしたいことがあれば8月頭までにご連絡下さい。

小笠原：緊急事態宣言がでて全ての行事が中止になった。子ども達の受け入れはほぼ影響が無い。ランドセル来館65名、学童70名を受け入れつつ、お昼ご飯は館内で食べられ、子どもの居場所を確保している。職域で7割の職員が1回目のワクチン接種ができた。

長谷川：7月1日青少健の地区委員会を行った。議題は松明祭をどうするか。緊急事態宣言が発令され祭自体は中止となった。中学生の主張大会の選考を9月1～3日で行う。

岩元：文化会の会報を発行するので集まり、作成に取り掛かっている。8月のカラオケ大会は中止。10月の文化祭はできるように願っているところ。保護司会の便りを配布。3日間社会を明るくする運動でパネル展示を行った。来年には映画会を行いたいと思っている。サマーイベントの午後の勉強は中学生にも参加して貰いたいと思っている。

小林：フリースペースはまた延期になった。なるべく早くできるように望んでいる。

森：西砂パソコン倶楽部では今月も講座を開いた。コロナ禍でも参加して下さりありがたい。

増田：財政を学ぶ会では学習会を行っている。商工会議所の柴田さんにコロナが中小企業にどう影響を与えたか話をして頂いた。24日はAIMで農工大名誉教授の瀬戸さ

んの講義を予定。意見交換もする。

石川：西砂学習館では職員の清水が異動して不補充となっている。7月に新規採用で職員がくるかもとなっていたが音沙汰が無い状態。9月にチャンスがあるとのことで、7月と8月はアルバイトをお願いしないで2人で乗り切る。

4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、7月15日（木） 18：00 ～20：00

◇ 夜間の開催の場合、必ず午後8時に終了。

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・「西一元氣通信 第2号」紙面案